

2023年度自己評価の結果について

(公表シート 様式 4)

学校法人旭川カトリック学園 旭川天使幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・学校教育法に基づき幼児を教育し、キリスト教の精神と理念に基づいて、他者に対する思いやりと自己犠牲の精神を育む。
- ・キリストによって示された神の愛を知り、他者への祈りを通して世界観を持つ。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・自己点検・評価を通じて保護者のニーズを確認することで、本園としてのビジョンを明確化する。
- ・幼児教育が人間形成の根を作る時期であることを教師と保護者が共有し、子どもを他者と比較することなく育てる。
- ・宗話や保育室や教会などで、園児が他者のために祈る体験を多く持つ。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目・目標	取組み状況
1 保育の計画性 保育内容及び指導の在り方等を精査し、指導計画を策定し、教育内容の充実を図る。	コロナ禍を経て様々な変化や見直されてきた事、幼児の実態の変化、季節や環境の変化などを踏まえて、年間カリキュラム、月案、週案をたて、保育を行った。ここ数年のコロナ禍から学んだことも前向きに活かし、保育の見直しをさら深め、色々な工夫や発想から楽しくのびのびと遊ぶことができる環境作りの設定をすることができた。行事も単純にコロナ禍前に戻すのではなく現状を踏まえた内容の計画をたて、保護者参加の形も検討しながら取り組んだ。
2 保育の在り方、幼児への対応 安全管理の徹底、幼児理解の向上、子育て支援その他の充実を図る。	コロナ禍で学んだことや、毎朝の検温や手指消毒・うがいの習慣など、身についたことを活かし、園児が安心して園生活を送ることが出来るよう、1人ひとりをしっかり見つめ、話をよく聞き思いを受け止め、園児と共感しながら保育活動を行った。園児の様子などについてしっかり観察し、保育者同士で話し合い共通理解をするよう心がけた。劣化してきた遊具を重点に、園内の点検や危険箇所の確認を定期的に行うとともに、通園バス置き去り事件を受けマニュアルの見直しや、訓練など安全管理に配慮をした。
3 保育者としての資質 保育専門家としての能力、姿勢、責任等資質向上を図る。	保育の『企画－実施－評価』の徹底を今年度も計り、保育の充実と教師の資質向上を目指した。子どもに寄りそった保育を目指すための目標の共有や職員間の意思疎通を深め、園児の成長を自分の喜びと感じ、園児と一緒に生活を創り出すことを楽しいと感じ、生き甲斐を持って保育に取り組むことができた。

<p>4 保護者への対応及び家庭との連携</p> <p>園児に関わる情報の発信と受信、保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応を図る。</p>	<p>園での様子を見て頂く機会が少しずつ増えてはきたが、保護者に個々の園児の様子を伝えていくよう、また家庭での様子を伝えて頂くよう連絡を密に取っていく努力をした。園からの連絡や発信など、各家庭との連携に務めた。保護者からの相談や要望も出しやすいように、普段からの声かけやアンケートなどに取り組んだ。産休の為、年度途中で年中の担任が交替したが、引継ぎをしっかりと、園児や保護が安心して通園できる様に信頼関係を保つことができた。</p>
<p>5 地域社会との連携</p> <p>地域の自然や社会との関わり及び小学校との連携を図り、地域開放の努力をする。</p>	<p>豊学校や小学校との交流をすることができた。公園で一緒に活動したり、相互に訪問し合ったりし、地域の自然にも触れ合う機会が増えた。園行事に地域の方々を招くことは難しかったが、今年も長年実施している親子教室で未就園児親子に来園して頂いた。</p>
<p>6 研修と研究</p> <p>研修・研究を積極的に行い、専門性を高める努力をする。</p>	<p>研修会はリモート参加が依然として多かったが、参加型も増えてきて、講師の生の声での講演や、他園の職員との交流は、向上心を高めると感じた。また研修の企画も多くなり受講の機会も増えた。園内研修はあまり実施できなかったが、園児の成長などをみんなで分かちあう機会は多くとることができた。</p>
<p>7 情報公開</p> <p>保育の現状等や自己点検・評価の結果等を個人情報保護に留意しつつ、積極的に園便り等で情報公開する努力をする。</p>	<p>園便りやクラス便り、週予定の発行を定期的に行保護者に情報発信を行うことができた。今年度後半より『マチコミアプリ』による、一斉メールでの連絡、ファイル共有での園だより・週予定などの情報発信も始めたが、メール開封の確認やペーパーレス効果もあり切り替えたメリットが大きかった。今後も個人情報保護にも配慮しながら、保護者の希望に応える情報発信を行いたい。</p>

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>今年度も、コロナの感染拡大が収まったとは言いがたい状況だが、ここ数年の経験を活かしながら実践することで、前向きに取り組むことが出来た。保育の見直しや園の課題の取り組みを、感染防止対策や通園バス等の安全管理などにも考慮しながら取り組んだ。今取り組むべき課題を、全教職員が共通理解しながら保育にあたる努力をし、一人ひとりの園児をみんなでよりそって見守り育てることができた。それぞれが自己評価をし、取り組み状況を話し合うことを通して、本園としての方針を明確にすることができ、それを実践する礎とすることができた。十分とは言えないながらSNSを活用し、園児の保護者だけでなく一般の方へ向けても情報提供をするようにしているが、更に見る者に伝わりやすい提供方法を工夫して行く必要を感じた。</p>
--

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理	<p>感染症予防対策を日常のこととして行うようになったが、コロナ禍が落ち着いても様々な感染症の感染拡大も見られるため、引きつぎ実施していく必要がある。安全管理の施設面での対応と、安全管理対策についての教職員の意識づけ、並びに危機管理マニュアルの見直しを引き続き行っていきたい。避難訓練や、置き去り防止対策などの園児を対象とした訓練等の見直しも行っていく。</p>

特別支援教育	特別支援を必要とする園児が増え、今後も一人一人の幼児に対応した個別の指導計画の作成、職員配置などを検討するとともに、医療・福祉の関係機関との連携も保護者と一緒に検討していく。また、当該児が進学する小学校との連携を密接にしていきたい。特別支援についての研修はこれからも継続して参加し、知識と理解を深めていきたい。
園に対する保護者の満足度の把握	年々変化する社会事情を敏感に捉えるため、保護者からの意見を聞く機会をアンケートなどを通して引き続き行う必要がある。本学園の建学の精神や本園の特色を大切にしつつ、変化していく子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められるカトリック幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎としたい。

6. 学校関係者の評価 A(満足)・B(やや満足)・C(やや不満)・D(不満)

<p>◎ 保育の計画性 A-80% B-20% C-0% D-0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育内容が充実しており、現状に合わせて検討し計画している。 ・体を動かしたり、モンテッソーリや制作等バランスよく体験できている。 ・どの行事も、子どもたちの日々の頑張りと成長を感じる事ができた。 ・天候による変更などが、早急にされて実施することができていた。 ・参観日の参観時間がすごく短い時があるので、もうすこし長くして欲しい。 <p>◎ 保育の在り方、幼児への対応 A-80% B-20% C-0% D-0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全管理などがされていて良い。何かあった時は電話連絡を ・安全管理の徹底がされていた。(感染面やバス置き去り防止) 幼児理解の向上もしている。 ・子育て支援では、エンジェル親子教室の他につぼみ組も開設され充実が図れていた。 ・日々の保育についての情報が少ないので、もっと情報発信して欲しい。 <p>◎ 保育者としての資質 A-100% B-0% C-0% D-0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・責任をもって預かってもらっている。 ・小学校に入るまでの土台をきちっと作ってくれているので、安心して学校へ行かせられる。 ・担任の先生がしっかり子どもと向き合ってくれている。子どもの良いところはさらによく、出来ない所はできるようになってくれた。 ・先生方の情報共有が行われているため、それぞれに合った個々の園児への対応がされていると感じた。 <p>◎ 保護者への対応及び家庭との連携 A-80% B-0% C-20% D-0%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めのクラス懇談で、その年の方針を明確に説明してくれるので、家庭での目標を作れた。その後も個人懇談やアンケートなどで、情報の発信や希望への対応をしてくれていると感じている。 ・随時、子ども達の近況報告をしてくれて、安心している。 ・アンケートなどで保護者の意見を聞いたり、マチコミメールなどで情報発信をしてくれるところが良い。

- ・保護者との連携は、もっと改善・向上の余地があると思う。茶話会の記録を確認していない事、頼んだことをしてもらえなかった事、親にも伝えるべきことを子どもにだけ伝えていた事などがあった。

◎ **地域社会との連携** A-60% B-40% C-0% 0%

- ・園外保育や小学校見学など積極的に経験している。
- ・畑で野菜を作ったり、花の栽培をしていたことや、散歩もしていた。
- ・地域開放はバザーぐらいでしょうか。様々な人と関わると良いと思います。

◎ **研究と研修** A-60% B-20% C-0% D-0% 回答無-20%

- ・良くされているように感じます。
- ・職員の研修が行われていることのみは認識している。

◎ **情報公開** A-80% B-20% C-0% D-0%

- ・良くしている。
- ・Instagramで日々の様子を写真と一緒に知ることができてわかりやすかった。
- ・もっと日々の写真をアップして欲しいです。行事の時だけではなく、日常生活の事も。天使幼稚園の良さを伝えるために、SNS活動はもっともっと積極的に行って欲しい。

7. 財務状況

大手監査法人である太陽ASG有限責任監査法人(東京)の監査を受け、適正に運営されていると認められている。また、法人本部の財務状況報告により法人内各幼稚園及び学園全体の財務状況は職員の間周知されており、共通理解に立って効率的な運営に努めている。